

最初にお読みください

Mascot Server version 2.3 for Windows Release Notes

Mascot Server version 2.3 の新規インストールあるいはアップグレードを行う前に、この書類の3頁にある「Windows OSの各バージョンに対応する注意点」をお読みください。

Mascot Server version 2.3 の新規インストール

新規インストール手順は、「インストールDVD¥mskk¥Mascot_Server_v2.3_新規インストール手順.pdf」をご覧ください。また「Installation and Setup」マニュアル（「インストールDVD¥manual.pdf」）の[Chapter 3]も併せてご覧ください。

Mascot Server version 2.3 へのアップグレード

前のバージョンの Mascot Server を version 2.3 にアップグレードする手順は、「インストールDVD¥mskk¥Mascot_Server_v2.3_アップグレード手順.pdf」をご覧ください。また「Installation and Setup」マニュアル（「インストールDVD¥manual.pdf」）の[Chapter 3]も併せてご覧ください。

新規サポート機能

1. 検索条件設定画面

Modificationの選択・表示方法を変更し、より操作しやすい画面構成にしました。

2. Protein Family Summary 表示モード

検索結果をひとつのページに表示する、「Protein Family Summary」表示モードをサポートしました。クライアントPCの搭載メモリやブラウザの表示可能情報量に関係なく、大規模な検索結果もスピーディに表示させることができます。また、階層的クラスタリングを利用してタンパク質をグルーピングし、デンドログラム（系統樹）として表示します。

3. Percolator

ワシントン大学で開発されたプログラム「Percolator」をサポートしました。機械学習（Machine learning）によってペプチドのランクを再評価し、与えられた False Discovery Rate (FDR) に対する感度（Positive補足率）を改善することができます。

4. 複数の配列DBに対する同時検索

複数の配列DBを選択して、それらを同時に検索することができます。セラチンやトリプシンなどのコンタミで構成される配列DBを同時に検索することができますので、単一の生物種に対して検索する場合などに利用すると効果的です。

5. その他

- Export search resultsの出力フォーマットとして「mzIdentML」をサポートしました。
- Mascot Daemon : Quantitationのバッチモードをサポートしました。
- mzXML形式のピークリストファイルをサポートしました。
- 64ビット実行ファイルをサポートしました。

バージョン 2.2.02 からの変更点

7頁にバージョン 2.2.02 からの変更点をまとめました。なお、最新の変更点に関しては、[「http://www.matrixscience.com/mascot_support.html#2.3」](http://www.matrixscience.com/mascot_support.html#2.3)をご覧ください。

最新の追加情報

2頁をご覧ください。

最新の追加情報

- Mascot Server に関連して動作するサードパーティのプログラムの中にはヘルパースクリプトを必要とするものがあります。Mascot Server のセキュリティ機能が動作している状態では、これらのヘルパープログラムがセキュリティホールになる可能性があります。
- Microsoft Internet Explorer 8 で使われているファイルアップロードコントロールはテキストのペースト機能をサポートしていません。これにより、Mascot 検索条件設定画面と連動するサードパーティのプログラム動作に不具合が生じることがあります。プログラムを修正するか、Internet Explorer 7 あるいは 6 にダウングレードすることで回避できることがあります。
- Windows Vista 以降の環境では、[コントロールパネル]→[プログラムと機能]を利用して、インストール済みの Mascot Server を「変更」または「修復」することができません。改めて、セットアッププログラム (setup32.exe または setup64.exe) を実行してください。
- Mascot Server をクリーンインストールする場合、Windows インストーラは最も空きスペースが大きいパーティションをインストール・パーティションとして選択します。デフォルトのインストール・パーティションは C ドライブとは限りませんので注意してください。
- nph-mascot1.exe は「Mascot TD」の実行ファイルです（「Big Mascot」の名称を「Mascot TD (Top Down)」に変更しました）。プリカーサ質量に対する検索制限を 16kDa から 110kDa に拡張しています。詳しくは、

http://www.matrixscience.com/help/top_down_help.html

をご覧ください。なお、Mascot TD は別途ライセンスが必要です。

- Microsoft Internet Explorer 6 は Protein Family Summary Report の表示速度が遅いため、可能であれば他のブラウザをお使いください。サポートしているブラウザについては、

http://www.matrixscience.com/help/browser_help.html

をご覧ください。

Windows OS の各バージョンに対応する注意点

Windows 2000

サービスパック

SP4 をインストールしてください。

Windows installer

Windows installer 3 が必要です。Windows installer 2 の下で Mascot Server インストールプログラムを実行した場合は Windows installer 3 にアップグレードするように促すダイアログが表示されますので、「<http://support.microsoft.com/?kbid=893803>」ページからダウンロードしてください。

Windows XP Professional

サービスパック

最新のサービスパックをインストールしてください。

Windows ファイアウォール

ネットワーク上のクライアントPCから Mascot Server へのアクセスを許可したい場合は、Web サーバ (HTTP) に対応するポート (通常は80番ポート) を開いてください。

Windows XP Professional x64 Edition

サービスパック

最新のサービスパックをインストールしてください。

IIS 6.0

ブラウザから Mascot 検索を実行し、Mascot 検索が終了する前に Mascot Server との接続が切断された場合は、その時点で Mascot 検索も強制的に終了させられるという不具合が判明していますが、今のところ回避方法はありません。なお、Apache 2.x ではこのような現象はありません。

IIS 6.0 は不明な MIME タイプを持つファイルを処理しません。また、XML スキーマドキュメントはデフォルトの MIME タイプリストには含まれていません。MIME タイプリストに *.XSD を追加する方法は Microsoft Knowledge Base の文書番号 Q326965 を参照してください。

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb:en-us:326965>

Mascot Server インストールプログラム

setup64.exe を実行してください (setup32.exe は32ビット用です)。

Mascot Cluster を構成するノードPCは32ビット版と64ビット版を混在させることはできません。どちらかに統一してください。

Windows ファイアウォール

ネットワーク上のクライアント PC から Mascot Server へのアクセスを許可したい場合は、Web サーバ (HTTP) に対応するポート (通常は80番ポート) を開いてください。

Mascot Cluster を構成するノードPCに対するWindowsファイアウォールの設定は「Installation and Setup」マニュアルの11章をご覧ください。

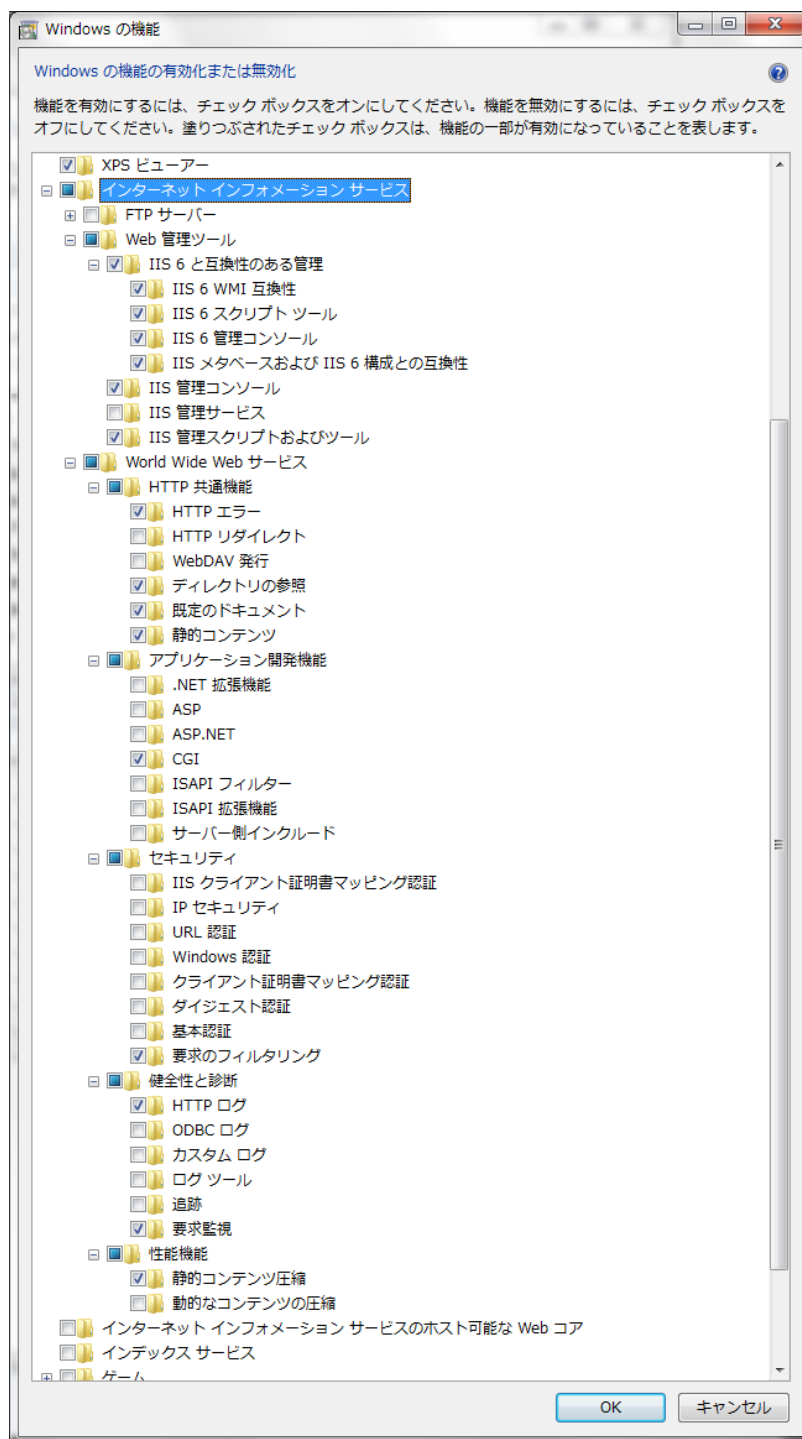
Windows Server 2003

3頁の「Windows XP Professional x64 Edition」と同様です。

Windows Vista

IIS 7.0

IIS 7.0 をインストールした後、Mascot Server の CGI アプリケーションを動作させるために、[コントロールパネル]→[プログラムと機能]→[Windowsの機能の有効化または無効化]を選択し、次の図に示す項目をチェックしてください。



Apache

IIS 7.0 の代わりに Apache 2.2.4 を使うこともできます (2.2.4 以前のバージョンではテストしていません)。次の手順でインストールを進めてください。

1. IIS をインストールしないでください。
2. 管理者 (Administrator) でログオンし、全てのインストールを実行してください。管理者権限を持ったユーザではインストールすることができません (注: 管理者権限を持ったユーザでインストールを進める場合は、コマンドプロンプト ([スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]) を右クリックし、[管理者として実行]を選択してください。コマンドプロンプトのウインドウが開きますので、ウインドウのタイトルバーに「管理者: コマンドプロンプト」が表示されていることを確認してください。コマンドプロンプトからインストールプログラム名を直接入力し、インストールを進めてください)。
3. <http://httpd.apache.org/download.cgi> から最新の Apache MSI インストーラをダウンロードし、全てデフォルト設定のままインストールしてください。インストールの最後の段階で、Windows ファイアウォールによるダイアログが出現しますので、80 番ポートに対するブロックを許可してください。また、エラーメッセージが出力される場合がありますが、インストールプログラムが Apache を起動できないためのエラーですので、無視してください。
4. Mascot Server のインストールDVDに含まれる ActiveState Perl を全てデフォルト設定のままインストールしてください。
5. Mascot Server をインストールしてください。
6. 「C:\inetpub\Mascot\Config\httpd.conf」の内容をコピーし、Apache の設定ファイル「C:\Program Files\Apache Software Foundation\Apache2.2\conf\httpd.conf」の最後にペーストし、保存してください。
7. 「C:\Program Files\Apache Software Foundation\Apache2.2\bin\ApacheMonitor.exe」ファイルを右クリックし、プロパティを選択してください。[互換性]タブの[互換モードでこのプログラムを実行する]をチェックし、リストから[Windows XP (Service Pack 2)]を選択し、[OK]ボタンを押してください。
8. Windows Vista を再起動してください。

Windows Vista x64 Edition

Mascot Server インストールプログラム

setup64.exe を実行してください (setup32.exeは32ビット版用です)。

Mascot Cluster を構成するノードPCは32ビット版と64ビット版を混在させることはできません。どちらかに統一してください。

Windows ファイアウォール

ネットワーク上のクライアント PC から Mascot Server へのアクセスを許可したい場合は、Web サーバ (HTTP) に対応するポート (通常は 80 番ポート) を開いてください。

Mascot Cluster を構成するノードPCに対するWindowsファイアウォールの設定は「Installation and Setup」マニュアルの11章をご覧ください。

Windows Server 2008

サービスパック

最新のサービスパックをインストールしてください。

IIS 7.0, 7.5

[コントロールパネル]→[Windowsの機能の有効化または無効化]→[サーバマネージャ]→[ロールの追加]を選択し、4頁の「Windows Vista/IIS 7.0」と同様に設定してください。

ブラウザから Mascot 検索を実行し、Mascot 検索が終了する前に Mascot Server との接続が切断された場合は、その時点で Mascot 検索も強制的に終了させられるという不具合が判明していますが、今のところ回避方法はありません。なお、Apache 2.x ではこのような現象はありません。

Mascot Server インストールプログラム

64ビット版に対しては setup64.exe を実行してください (setup32.exe は32ビット版用です)。

Mascot Cluster を構成するノードPCは32ビット版と64ビット版を混在させることはできません。どちらかに統一してください。

Windows ファイアウォール

ネットワーク上のクライアント PC から Mascot Server へのアクセスを許可したい場合は、Web サーバ (HTTP) に対応するポート (通常は 80 番ポート) を開いてください。

Mascot Clusterを構成するノードPCに対するWindowsファイアウォールの設定は「Installation and Setup」マニュアルの11章をご覧ください。

Windows 7

IIS 7.5

[コントロールパネル]から[Windowsの機能の有効化または無効化]を開き、4頁の「Windows Vista/IIS 7.0」と同様に設定してください。

ブラウザから Mascot 検索を実行し、Mascot 検索が終了する前に Mascot Server との接続が切断された場合は、その時点で Mascot 検索も強制的に終了させられるという不具合が判明していますが、今のところ回避方法はありません。なお、Apache 2.x ではこのような現象はありません。

Mascot Server インストールプログラム

64ビット版に対しては setup64.exe を実行してください (setup32.exe は32ビット版用です)。

Mascot Cluster を構成するノードPCは32ビット版と64ビット版を混在させることはできません。どちらかに統一してください。

Windows ファイアウォール

ネットワーク上のクライアント PC から Mascot Server へのアクセスを許可したい場合は、Web サーバ (HTTP) に対応するポート (通常は 80 番ポート) を開いてください。

Mascot Cluster を構成するノードPCに対するWindowsファイアウォールの設定は「Installation and Setup」マニュアルの11章に記載してある操作手順とは若干異なります。各ノードPCに対して次の設定を行ってください。

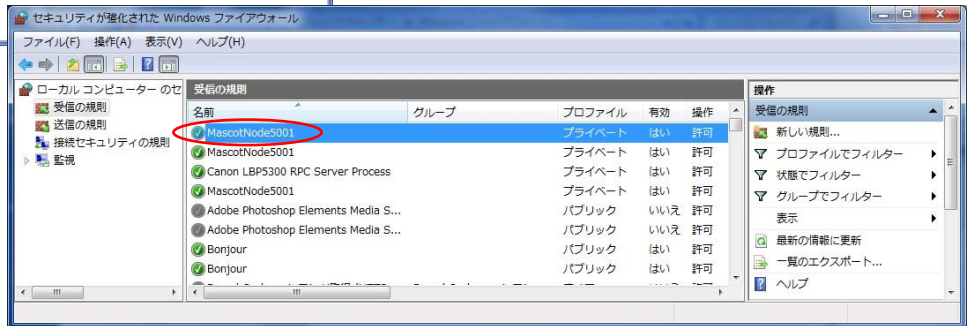
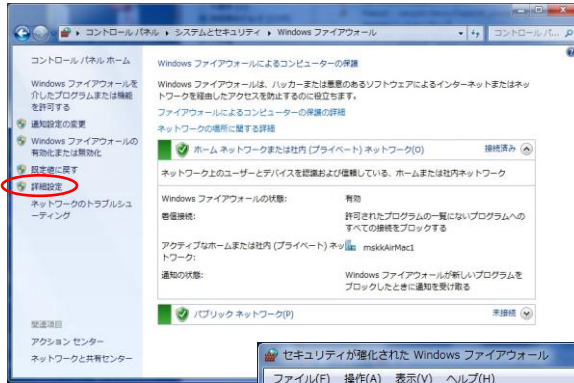
1. 管理者権限を持つユーザでログオンしてください。

2. [コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]を開き、[アクティブなネットワークの表示]欄が「社内ネットワーク」になっていることを確認してください。「パブリックネットワーク」になっている場合はそのリンクをクリックして変更してください。



3. [共有の詳細設定の変更]をクリックし、「ファイルとプリンターの共有を有効にする」が選択されていることを確認してください。

4. [Windows ファイアウォール]→[詳細設定]→[受信の規則]→[新しい規則]をクリックし、[新規の受信の規則ウィザード]を開いてください。[ポート]を選択→[次へ]ボタン→[TCP]選択→[特定のローカルポート]選択し「5001」を入力→[次へ]ボタン→[接続を許可する]を選択→[次へ]→[ドメイン]と[パブリック]のチェックを外す→[次へ]→[名前]欄に「MascotNode5001」を入力→[完了]ボタンの順に操作をすすめ、[受信の規則]欄に「MascotNode5001」が追加されたことを確認してください。



バージョン 2.2.02 からの変更点

次の表ならびに http://www.matrixscience.com/mascot_support.html#2.3 をご覧ください。

ID	Title
203	Support multiple Fasta databases
599	Installation - service name missing under Windows 2000
781	Delete a database from mascot.dat, still shows up in Database Status
1108	ignore_ions not working properly
1754	Non-linear progress reports in error tolerant search of large data set
1765	New installation program required
1792	Spurious M00251 messages. Warning : Taxonomy 'Viruses' ignored.
1834	Some URL's in Entrez reports in Protein View are relative
1883	Daemon check for Analyst 1.x is not correct
2062	Master results needs to display flag for unique vs shared
2136	Select summary (unassigned) has check boxes but no repeat search button.
2191	Add /LARGEADDRESSAWARE flag for Windows
2196	Crash when .dat or taxonomy file being updated on server when search starts
2209	New functions for client.pl
2233	Installer fails to set permissions adequately
2236	mzData ignores spectra with precursorList count > 1
2246	ms-getseq.exe and ms-gettaxonomy.exe not working for guest user
2338	Accession numbers should not be displayed in the status bar.
2341	Modifications on search form should use single master list
2378	Reference file entry not completely retrieved for first seq in SwissProt using AC rather than ID
2382	Changes to not.mascot.dat for Windows installer
2393	Support for QUERYLIST to enable repeat search from Select summary
2433	ET search or search with accessions on NA db is wrong
2434	peptide match parameter discrepancies for multiple NLS
2438	Reproducible crash in CMassComponent::makeQueryArray
2441	RDBI Daemon parameter fails to clear decoy/error tolerant
2442	DNA modifications are not output in Peptide Summary
2443	progress report is slightly wrong for NA searches with FRAMES
2445	nph-daemon_helper.pl missing from shipper (required by GPS Explorer)
2447	Confusing error message from Daemon with security and Integra user
2448	get_params.pl fails with Integra system user when security is enabled on Linux
2449	Modifications from hidden list not escaped in search form

ID	Title
2454	mod_file should be re-written if a user edits it
2455	Changes requested to modifications configuration editor
2457	Installer fails if IIS web site is bound to a specific interface or URL contains an IP address
2458	Installer needs to set permissions on unimod.xml and quantitation.xml
2464	Add the fixed mod delta to the XML export
2465	Mascot Daemon 2.2 no longer works with IIS integrated authentication
2466	Need to leak bytes in additional place for quant reports
2467	ms-monitor fails when shutting down under Windows with ms-lockmem enabled
2470	Support higher charge states (current limit 8+)
2471	PMF performance improvements
2472	Multiple instances of too many ions error in mzData causes nph-mascot.exe to crash
2473	Cannot have space in lcq_dta.exe path name in Daemon
2475	Quant. Want option to require modified residue to be present.
2476	Mascot is ignoring mzData retention time information
2477	Local modification being used in the wrong spectra?
2478	Perl scripts ouputting http headers with charset=ISO-8859-1
2479	Invalid etags can get matches
2481	Error tolerant search: discrepancies between Peptide Summary and Peptide View
2482	performance improvements for etag searches
2483	In reports, modifications could be hyperlinked to the Unimod entry
2484	Export help not clear
2485	getseq.pl takes a sessionID parameter, but doesn't pass it on to ms-getseq.exe
2486	Kludge modification names for GPS
2487	Add proper support for Vista
2488	Installer needs to configure IIS 6 to allow cgi and x-cgi
2489	The Mascot paths in the registry now have a trailing slash.
2490	Installer needs to install new config file called mod_aliases
2491	Configuration Editor bugs roll-up
2492	Mascot Security issue with ms-getseq.exe. Change to getseq.pl
2494	Daemon fails to report all Distiller errors
2496	SwissProt taxonomy is partly broken...
2497	NA searches sometimes crash while writing results file
2498	Missing graphs - improve error reporting in scripts
2502	nph-mascot.exe opens all compressed files on node. Should only open required ones?

ID	Title
2503	emPAI documentation updates
2505	Add button to display all matches in Peptide View
2506	URL arguments for quant formatting not being passed to export script
2507	Daemon drag and drop to repeat a search problems
2510	Search crash after failing to lock with ms-lockmem
2511	MS/MS search speed improvements
2512	primary_nl string confused if two matches have identical score
2515	Cannot remove multiple privileges with single click in security admin
2516	Add raw result file to export list
2518	Daemon should not halt a task if Distiller produces multiple peak lists
2519	State of hide error tolerant checkbox not passed to protein view
2520	Protein view and enzymes created by config editor are incompatible
2522	Increase range of charge states available in lcq_dta_shell
2524	Intermittent crash with integrated ET mode
2529	Table of matches at bottom of peptide view doesn't always agree with master results
2530	Scripts and parser had different upper limit on significance threshold
2533	ms-makesearchlog.exe crashes when corrupt result files encountered
2534	Create windows installer patch package
2535	Daemon external process parameter "<resultfilepath>" doesn't return a full path like the help says.
2536	automatic BIG mascot mode
2538	Intermediate file name is missing or empty. [M00398] - misleading error message.
2539	Command string for Daemon external processes is truncated unnecessarily at 255 characters
2540	If ITOL not set Mascot will search anyway
2541	If heavy or light isotope not found in Unimod, error messages are unclear
2542	Master results slow after fix for 2529
2543	Legacy upgrade doesn't remove old ARP entry
2544	High PMF score for single large protein with no enzyme (crazy search)
2550	Isotope correction for multiplex quantitation not implemented correctly
2559	Decoy stats shouldn't be displayed in protein summary for mixed ms and ms-ms
2561	Configuration editor limits number of residues in cleave and restrict fields to 10.Limit should be 20
2562	Protein View fails for hit in peptide summary with a protein score below threshold
2563	Spurious error message: Error [M00267 - Job -1 - X00875:ms_fileutil] - Failed to lock file
2564	Zero length fasta file causes ms-monitor.exe to crash

ID	Title
2566	Specific case where sequence tag fails
2567	ms-searchcontrol.exe should not output warnings if they will confuse client
2568	quantitation normalisation not consistent with help
2569	Quantitation not reporting protein ratio when there is a single peptide ratio
2571	Daemon should automatically remove MGF header lines when merging files
2572	Database maintenance corrupts extended characters which can lead to SetEntriesInAcl errors
2573	Swapping database with SeparateLockMem=1 and /3GB /PAE
2574	Update Daemon help re connection strings for SQL Server
2575	Add security to client.pl
2578	ms-gettaxonomy.exe fails if you request a tax id of -5 or lower
2580	Small memory leaks
2581	minor ms/ms scoring bugs (no visible sytoms)
2582	Need paged report for very large result files
2584	Decoy search on cluster only performs decoy part on first node
2589	ms-review - outputs invalid html if there is no searches.log file
2595	User parameters not HTML escaped during report generation
2597	No reason why tolerance needs to be set wide for multiplex quantitation
2598	Changing the case of a database name causes problems in Windows
2601	Supply a (sample) contaminants database
2602	Increase limit for number of databases to 256
2605	Improved reporting of protein hit
2609	PMF Mixture false positive
2612	Crash with large mod and very large peptide
2613	negative modification deltas with BIG mascot are output to result file as huge numbers
2616	Over-merging peptide matches when delta is the same
2618	Charge state in result different from input file
2619	Incorrect delta mass written to result file when fixed and variable apply to terminus
2620	Should probably include merged.dmp in mascot.dat (and supply it) to reduce M00384 warnings.
2622	Order of etag-results and of pmf queries is variable in result file
2623	Results slow to load in a browser because javascript var lines too long / large
2626	Protein view gives: "Fatal error no source defined" when database name contains parentheses
2629	Rare crash on Windows cluster. No message in error log files
2631	Progress reports for ET search inaccurate

ID	Title
2632	Upgrade projects to VS2005
2633	No point having sort unassigned control in a (protein) select summary
2635	Uniref100 help page needs updating
2637	Daemon failing to post correctly to https (ssl enabled) Mascot server
2639	Add support and doco for new MGF field "RAWSCANS".
2644	ProteinsInResultsFile set to 2 doesn't include rank 2 peptides with score same as rank 1
2646	Protein view: Fatal Error protein sequence has changed since the search was performed when there are base substitution in an error tolerant search
2647	Add support for UltraSPARC T1 and T2, and IV+ processors
2648	Minor CSV format changes for export script
2650	Mascot Daemon crash if number of formats supported by Distiller is reduced (e.g. uninstall Agilent MassHunter support)
2659	Don't use peptide length limit in error tolerant search
2662	Configuration Editor should use the system locale
2663	Crash with multiple subclusters
2664	PKL files with charge as float breaks Daemon merge
2666	Quantitation method can not be found [M00473] when there are strings containing multiple consecutive spaces in name.
2668	protein_view.pl should take enzyme definition from the results file
2669	BIG mascot mode has a few problems
2670	Error M00248 - Invalid taxonomy name class (authority) and (unpublished name)
2671	new version Uniprot SwissProt 56 has changed format for fasta
2673	Spurious 'Too many modifications' message for quantitation method
2674	Need to change certain text labels in ms_config Instruments section
2675	small databases with multiple threads are not iterated properly
2676	Daemon follow up loses track of Distiller project after first follow up
2678	Illegal division by zero at ./quant_subs.pl line 3653
2679	Cannot have same modification appearing in more than one component in quantitation method
2680	ms-config crashes on empty environment
2681	Crash when writing to ipc.log, or rarely other log files. The ctime function is not thread safe
2683	Inconsistent report of quant method mods at the bottom of peptide summary.
2685	Mascot Integra Daemon not starting tasks with a long parameterset name
2686	If two local definitions in a quantitation method, second is ignored
2688	Change minimum ms-ms fragment tolerance in search form so that users don't have to switch units to mmu

ID	Title
2689	Parser functions requiring a string must not be passed a perl number
2692	implement mzML input data format
2693	More problems with large variable mods
2694	Can't lock both SwissProt and NCBIInr on Server 2003 (x64) cluster
2696	Selecting Merge MS/MS into single search and Distiller peak list format mzData gives error
2697	Crash with average quantitation protocol and no variable mods.
2699	pass spectrumID as SCANS in mzData
2701	Masses in help page are out of date
2702	Daemon fatal error with myODBC 5.1.5
2705	Need documentation for different neutral loss types somewhere
2706	index.html on databases DVD needs updating for 64 bit windows
2707	lcq_dta_shell.pl still using 1.008 for proton mass
2709	Change Daemon to have default Min. Scans / Group of 1 for lcq_dta.exe
2711	Crash on public web site with multiple very large modifications (glycosylations)
2717	Export with show_queries=1 or query_master=1 will run out of memory on large result file
2719	Some very short peptides with very low scores missed in multi-threaded search
2720	taxonomy ignored warning is reported twice
2721	Support IPv6 in the search log
2722	Search of Trembl crashes before it can even get started when "constrain search" is true.
2723	Crash with ETD-CID Instrument
2725	Configuration Editor allows duplicate values for report_ratio name
2726	Select summary should not collapse matches for different charge states
2733	Database maintenance doesn't set number of threads correctly in some cases
2735	ms-ms mzData file fails with out of memory if first spectrum is ms with 8000peaks
2738	Add support for Distiller quantitation into Daemon so as to enable batch automation
2740	Add charge states "2+, 3+, and 4+" to search form for ETD
2741	In Daemon, support MDRO IPeakListFormatOptions4 functions
2742	mascot.dll memory leak has become unacceptable. Add work-around to Daemon
2743	Add a security task that set a separate query limit for no enzyme searches
2744	Test search fails when there are multiple sub-clusters
2745	Daemon should provide proper UI for web authentication username and password
2746	semi-specific enzyme or ET search on NA databases doesn't properly count number of Xs

ID	Title
2748	Failure to read .stats file doesn't report an error
2751	Error M00251 - taxonomy indexes ignored when searching SwissProt with large number of threads.
2752	homology thresholds can differ in cluster and standalone mode or with differentchunks
2753	Mass of electron not considered when reading from dta files.
2754	discrepancies in mod deltas as output to dat-file
2757	Update Configuration Editor to support quantitation_2.xsd
2760	quant_subs.pl crashes when normalisation either average or median and somepeptide matches have no ratios
2761	Integrate Mascot Percolator
2763	Add support for analysisXML (now called mzIdentML)
2764	Export script fails to include error tolerant matches in pepXML
2766	Update IPI help pages
2767	Allowed p value for significance threshold should be $1E-18 < p < 1$
2768	iTRAQ reporter ion masses don't allow for loss of electron
2769	Mascot Daemon Parameter editor needs to allow multiple fasta
2770	ms-monitor checks far too frequently for fasta file changes
2771	If a set of values is identical, should report SD(geo) as 1.0, not NN
2778	Add MALDI-ISD option to Instruments file
2780	Daemon needs heartbeat function for Integra
2784	Add copy and paste for command line to export script
2785	If file path and name are too long Daemon can not open the data file
2786	Mascot Daemon hyperlink to Protein Family Summary for large MS/MS
2790	Peptide view not listing fixed mods specified in quant method
2791	Config editor hangs when deleting quant ratios
2793	Save an index into the mgf/pkl/dta file for mzIdentML export
2797	Update test search and change template name to do_not_delete.asc
2799	Duplicate fasta filenames in different paths cause confusion
2804	Update multiplex to handle isobaric peptides (IPTL)
2805	Taxonomy entry with apostrophe breaks search form cookies
2814	Speed up for mzIdentML exporter when creating fragment ions
2815	Fragment masses wrong when ET mod applies to fixed mod site
2823	If IgnoreIonsScoreBelow is not zero in mascot.dat, cannot set to zero in form
2824	ms-monitor.exe crash when multiple threads write to monitor.log at same time

何かお困りのことがありましたら弊社技術サポートにご連絡ください。



マトリックスサイエンス株式会社

電子メール: support-jp@matrixscience.com

電話: 03-5807-7896

ファクシミリ: 03-5807-7896

住所: 〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-10-12 KNビル 3階